

関係各位

平成 21 年 6 月 1 日
16 階 共同研究室
吉良・薮中（内線 3976）

自動現像機稼働終了のお知らせ

平素は共同研究室の運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。
標題に関して現在、自動現像機の現像・定着液をタンクに組み上げるポンプを制御する基盤が故障しており、高額修理が必要な状況です。
現時点での現像は可能ですが、現像品質の保証ができない状態です。
共同研究室としては下記の理由により現像機の稼働をあと 1 か月ほど（現在の消耗品がなくなり次第）で終了させていただきたいと考えております。

- ① 修理を行っても機器導入より 10 年が経過しており他の部品の劣化も予想される。
- ② 利用頻度が低いため維持管理に多額の費用が必要な状況である。
- ③ 自動現像機に代わる機器として平成 18 年度 LAS-3000 を導入しており、ほとんどの利用者は LAS-3000 へ移行済みである。

ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Central-lab/>